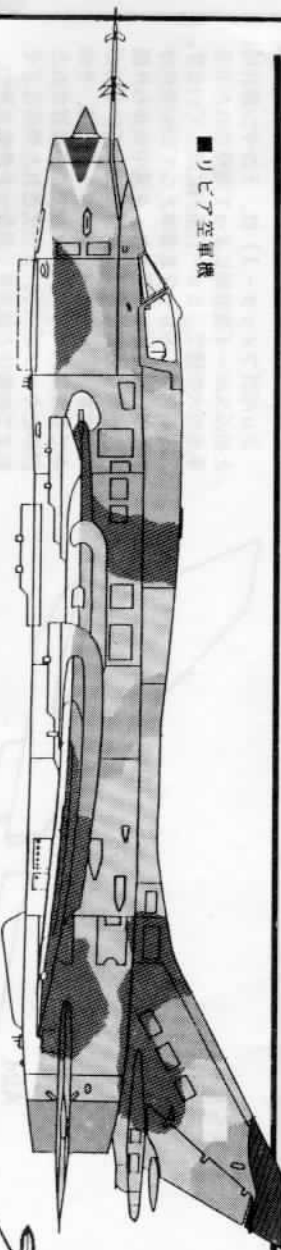


Sukhoi Su-22 "Fitter-J"

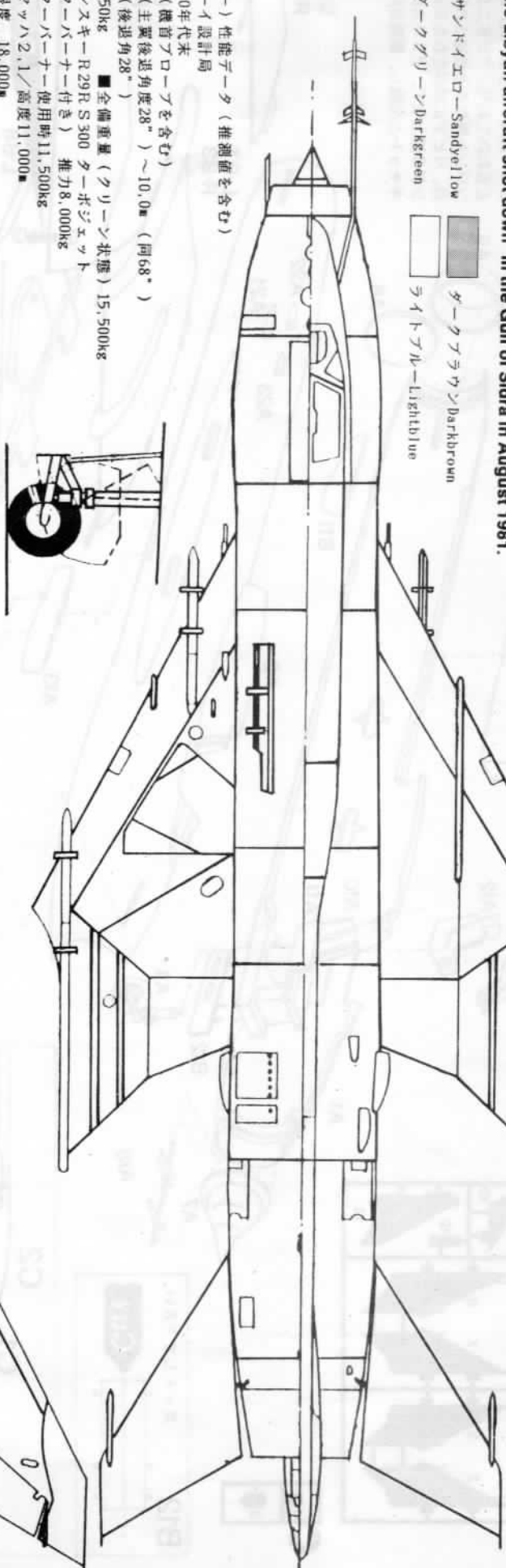


■リビア空軍機



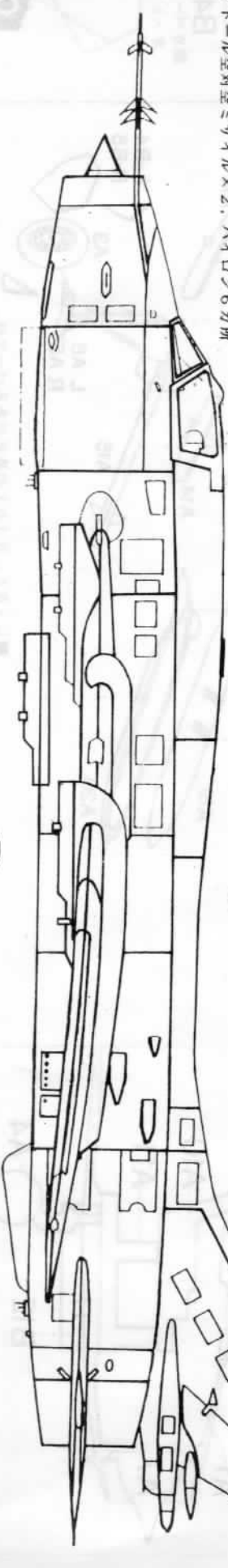
Su-22 the Libyan aircraft shot down in the Gulf of Sidra in August 1981.

- サンドイエロー-Sandyellow
- ダークブラウンDarkbrown
- ダークグリーンDarkgreen
- ライトブルーLightblue



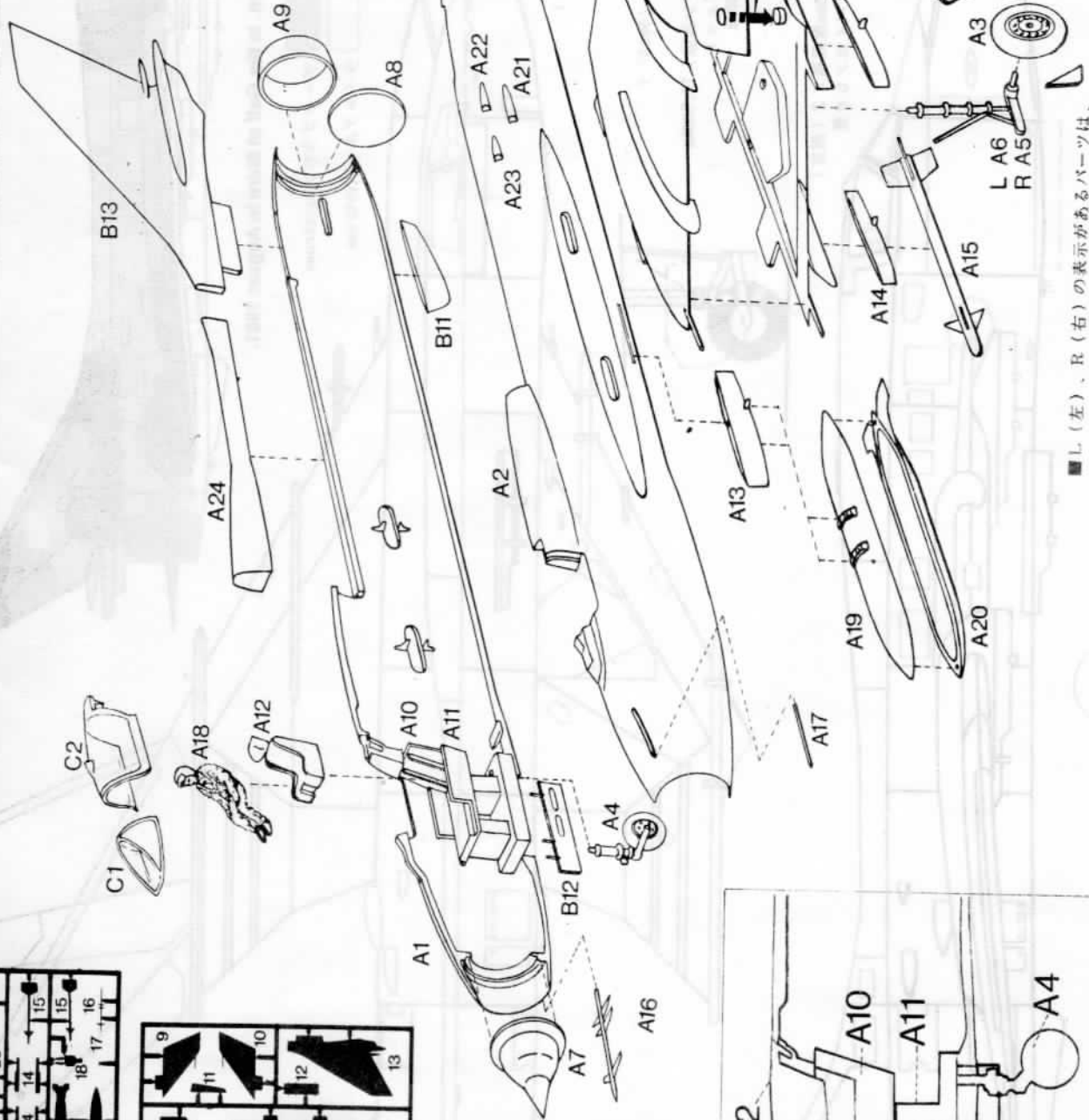
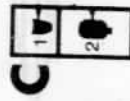
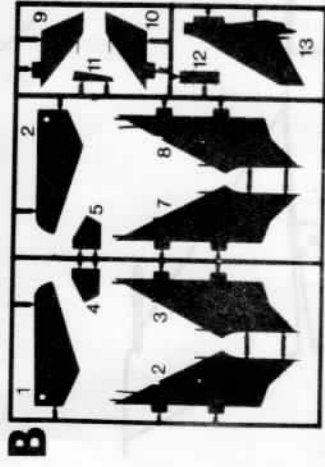
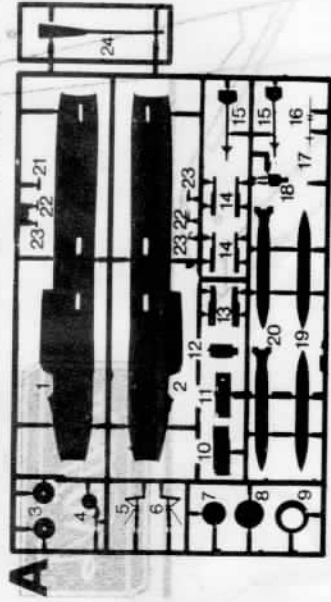
Su-22 (ファイター) 性能データ (推測値を含む)

- 設計局 スホーイ設計局
- 開発時期 1970年代末
- 全長 18.5m (機首プロローブを含む)
- 全幅 14.0m (主要後退角度28°) ~10.0m (同68°)
- 翼面積 40.1m² (後退角28°)
- 重量 自重9,850kg ■全備重量(クローン状態) 15,500kg
- エンジン ツェンズキーR29R S300 ターボジェット (アフターバーナー付き) 推力8,000kg
- エンジン (アフターバーナー使用時) 11,500kg
- 性能 □最大速度マッハ2.1/高度11,000m
- 実用上昇限度 18,000m
- 武装 Nudelmann- Richter NR-30 30mm機関砲×2 (固定)
- K-13 Aアトール空対空ミサイル×2, バイロン6カ所



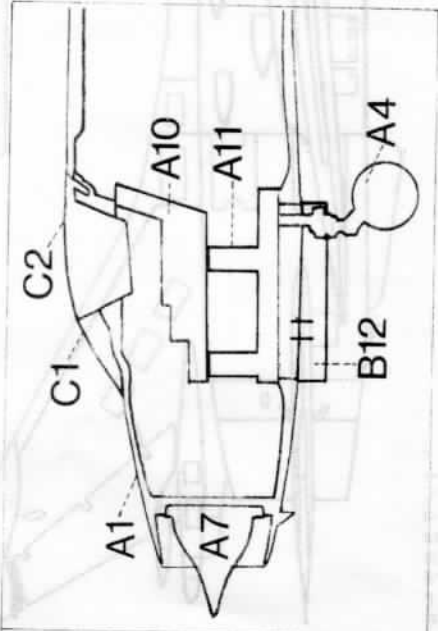
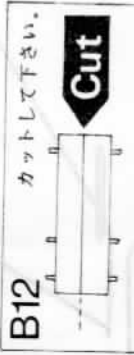
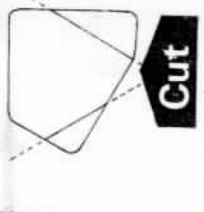
Sukhoi Su-22 'Fitter-J'

Su-22(ファイター-J)は、ミコヤン設計局と並ぶスホーイ設計局によって開発された単発単座の大型機で、Su-7系列に属しています。この系列は、Su-7を基本として1960年代から70年代にかけて開発され、主翼中央から外側だけが動く独特の可変後退翼を備えているのが特徴です。Su-22(ファイター-J)は、その中でも後期のハリエーションで、新設計された胴体とキャノピーや、大型化された機首などそれまでの機体とは大きく異なった外観を持つ。Su-17(ファイター-H)対地攻撃機の輸出型と言われており、アビオニクスが簡易化されエンジンも異なると推定されています。1981年8月、リビアに供与されたSu-22の内の2機がシドラ湾上空で、アメリカ海軍のF-14Aトムキャットと交戦し、撃墜された事件は有名です。



Don't Cement!
可動にする場合、接着剤が着かないよう注意。

B4 B5
脚カバー開状態の場合、カットして下さい。



■L(左)、R(右)の表示があるパーツは、図を参考に右側も同様に作ります。